

乗雲



しゃかねはんず
釈迦涅槃図

寺報 第61号

H16.3.1 発行

広厳寺

〒959-2646 新潟県

北蒲原郡中条町

西栄町 2-8

TEL0254-43-2419

FAX0254-43-4560

振替

00650-4-5381

住職 神田英俊

Eメールアドレス

tera@kogonji.jp

釈迦涅槃の日

「拘尸那(くしな)のほとり風おちて 流れはむせぶ如月の

望の月影きよけれど 傳く雲にかげりゆく」

大聖釈迦如来涅槃御和讃

お釈迦さまは二月十五日(旧三月十五日)夜半、インドのクシナガラの沙羅の林で多くの弟子、動物、あらゆる生きものに囲まれてご入滅なされました。満月の夜、八十歳のご生涯でした。その釈迦ご臨終の様子を描いてあるのがお涅槃図です。頭を北に向け、右脇を下にしたお姿です。お釈迦さまは釈迦国の王子でしたが、王位も妻子も捨て二九歳で出家、六年間苦行を続けられ、三五歳になられた十二月八日明けの明星を見てお悟りを開かれます。その後八十歳で亡くなるまでの四五年間インド各地で沢山のお弟子を育てられました。「いのちあるものは必ず死がおとずれる、限りあるいのちを大切に、怠ることなく今を一生懸命に生きなさい」と最後のお言葉を残され涅槃に入られました。そのみ教えは今も連綿として受け継がれて来ております。

今から二三年前、縁あってインド仏蹟巡拝に参加、クシナガラの涅槃堂にお参り、堂内には六メートルの全身金色の釈迦が安置され黄色の大きな袈裟を纏っている。舍利礼文を誦読してお体の回りを巡る。釈迦涅槃図を見るたび当時の感涙を思い出します。お彼岸まで乗雲閣(位牌堂)にお祀りしてありますのでどうぞお参りください。